

貨物鉄道における輸送量拡大に向けた取り組み(貨物駅の結節強化)

JR貨物グループ全体でモーダルコンビネーションを推進し、お客様のニーズに最適なソリューションを提供するため、物流結節点である貨物駅の機能を拡充し、他の輸送モードとのシームレスな物流ネットワークを構築。

○積替ステーション・駅パレ(パレットデポ)の拡充

- ・「積替ステーション」は、貨物駅構内あるいはその近隣に位置する貨物上屋・倉庫において、一般のトラックと鉄道コンテナの間で貨物の積替えを行う目的で、場所及びコンテナ移送等の付帯サービスを提供する施設。

⇒2025年10月時点、16駅※に設置済。全国22駅に設置を計画。

※函館貨物、東青森、八戸貨物、秋田貨物、盛岡タ、水沢、郡山タ、東京タ、相模貨物、新座タ、西浜松、名古屋タ、岐阜タ、吹田タ、百済タ、松山貨物

- ・「駅パレ」は、貨物駅構内または近隣に設置するパレットデポにおいて、お客様やすべての鉄道利用運送事業者が手軽にパレットのレンタル・返却ができるレンタルパレットサービス。

⇒2025年10月時点、14駅※に設置済。全国22駅に設置を計画。

※帯広貨物、札幌タ、八戸貨物、仙台タ、郡山タ、宇都宮タ、岐阜タ、京都貨物、吹田タ、百済タ、岡山タ、東福山、湖山ORS、熊本



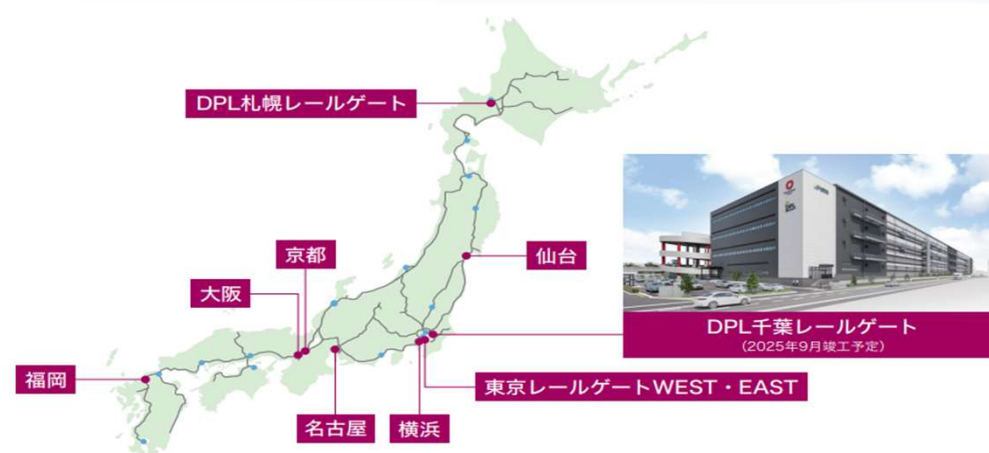
新座貨物ターミナル駅の積替ステーション



京都貨物駅のパレットデポ

○レールゲートの展開

- ・「レールゲート」は、貨物駅の「駅ナカ」「駅チカ」に立地するマルチテナント型物流施設。現在、東京、札幌に開設。
- ・他の中核駅においても、レールゲートを展開することを計画。



⇒2025年9月に千葉に開設の他、今後、仙台、名古屋、大阪、福岡等で計画中。

全国の積替ステーション（2025年10月現在）計16か所設置

